広報
さめがわ

昭和63年
2月号
No. 410
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



自覚を新たに　新成人の門出を祝福

20歳の成人を祝う第40回鮫川村成人式が1月15日午前10時から山村開発センターで開かれました。

この日、成人に達した男子31人、女子42人は、真新しい背広や華やかな振袖姿に身を包み式典に臨みました。

式では、芳賀村長が式辞を述べたあと、代表の吉田三男さんに成人証書と記念品が手渡されました。蛭田議長の祝辞のあと、星栄治さんが誓詞を朗読し、鷺野谷尚美さんと前田ちあきさんが成人者の感想文を発表しました。

このあと、ＮＨＫ大相撲放送でおなじみの杉山邦博アナウンサーの「道に生きる」と題した記念講演があり、20歳の門出を祝福しました。

2月14日　納税表彰式
2月16日～3月15日　所得申告相談受付
2月28日～3月13日　春の全国火災予防運動

今月の人口
（2月1日現在）

		前月比
人　口	5,459	（－2）
男	2,682	（－6）
女	2,777	（＋4）
世帯数	1,137	（±0）

夢ふくらむ竹飛歩学園

4月開園に奔走



学園についての説明を受ける入園希望者のみなさん

4月開園に向けて準備を進めている「竹飛歩学園」では今、入園希望者の問い合わせが殺到し、うれしい悲鳴をあげています。

竹飛歩学園開設のニュースは、県内新聞・テレビはもとより、全国紙の新聞にも取り上げられました。以来、都会の各地から約二百件もの入園希望者の問い合わせが相次ぎ、電話の応対に追われています。

一月下旬の土、日曜日には、二十一名の小・中学生が父兄と一緒に鮫川村を訪れ、学園や、小学校、中学校、高校分校などを見学し、山村留学に夢をふくらませて帰省しました。

学園では、清水先生、進士先生たちが、村の教育指標に反しない立派な子供たちを受け入れようと、入園生の選考に東京と鮫川村を奔走しています。関係者の皆さんのご協力をお願いします。

63年度 水田農業確立対策

新たに「米消費拡大量」の配分

米を国内の消費に見合った量を計画的に生産する、水田を活用して有利な農産物を生産する――などのために、水田農業確立対策が進められています。

今年の転作目標面積は、国において前年同様とされていますが、一方で、米売渡申込限度数量の減量配分、多用途利用米の増加、市町村内での米の消費拡大量の配分（米需給均衡化緊急対策）があり、実質転作面積は増えることになります。

農事組合と個人毎の転作目標、米売渡申込限度数量は、村の水田農業確立対策推進協議会の協議を得て後日配分されます。

生産性の高い水田農業にするためには、転作の集団化、輪作農法の実施、地域の条件に合った収益性のある作物の導入等、集落ぐるみの取り組みが大切であります。

所得申告は3月15日まで

今年も所得の申告をしていただく時期になりました。

この申告は、昭和六十二年中に得たすべての所得について申告していただくもので、所得税、村県民税等の税額を決定する基礎になるものです。

村では、先にチラシ等でお知らせしたとおり、二月十六日から三月十四日まで申告相談を受付します。

受付時間は、午前九時から午後四時までとなっていますので、指定の会場で申告してください。

贈与税の申告もお忘れなく

贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日までですが、一時に納めることが困難なときは、担保を提供するなどして五年以内の年賦による延納もすることができます。

詳しくは、白河税務署（☎〇二四八-二二-七一一一）にお尋ねください。

所得申告相談受付日程

月	日	曜日	場所	行政区名
2月	16日	火	山村開発センター	期日指定の人
	17日	水		
	18日	木	西野生活改善センター	赤坂西野
	19日	金		
	20日	土		
	22日	月	西山区集落センター	西山
	23日	火	山村開発センター	期日指定の人
	24日	水	西山区集落センター	西山
	25日	木		
	26日	金	赤坂中野区集落センター	赤坂中野
	27日	土		
	29日	月	東石区集落センター	赤坂東野
3月	1日	火		石井草
	2日	水		
	3日	木	富田区集落センター	富田
	4日	金		
	7日	月	渡瀬区集落センター	渡瀬
	8日	火		
	9日	水		
	10日	木	青生野区集落センター	青生野
	11日	金		
	12日	土	山村開発センター	上記会場で申告できなかった人
	14日	月		

※ 受付時間は午前9時から午後4時までです。



▲消防自動車による市内パレード

無火災、無災害を誓う
消防団出初式

恒例の消防団出初式が、一月六日午前十時から山村開発センターで挙行されました。

寒気を突いて消防車両による市内パレードや水勢披露、通常点検、各種表彰などが行われ無火災、無災害を誓いました。

席上表彰された方々は、次のとおりです。

◆無火災分団表彰〈村長〉

▽第六分団（十一年）▽第一分団（三年九か月）▽第五分団（三年九か月）

◆優良団員表彰〈村長〉

▽第一分団＝湯坐好郎、岡部武夫、▽第二分団＝鈴木徹男、関根成男、▽第三分団＝関根啓太郎、阿久津茂、▽第四分団＝高久利道、国井清敏、▽第五分団＝鈴木次男、松崎文男、▽第六分団＝国島賢一、白井博明、▽第七分団＝棚井幸一

◆消防庁長官表彰〈退職団員〉

▽一号銀杯（二十五年以上勤続）須藤泰助、石井隆夫、▽二号銀杯（十五年以上二十五年未満勤続）生田目利夫、蛭田栄次、大森光枝、関根市男、蛭田勝二、芳賀元治、鈴木勝正、矢吹俊次、生田目芳幸、蛭田彦忠、芳賀光美、坂本圭司、根本幸一、薄葉正一、西野長治、斉藤義男、我妻光男、野崎勇次、平久江三治、平久江勝雄

◆退職団員感謝状〈消防団長〉

須藤泰助、石井隆夫、生田目利夫、蛭田栄次、大森光枝、芳賀貞夫、関根市男、蛭田勝二、芳賀元治、鈴木正晴、鈴木勝正、矢吹俊次、須藤一、石井久夫、生田目芳幸、蛭田彦忠、前田俊男、芳賀光美、坂本圭司、根本幸一、鈴木香、阿久津栄二、武川始、石井富一、藤田文雄、薄葉正一、西野長治、白坂万吉、矢吹肇、藤田幸弘、斉藤義男、関根徳次、関根秀男、我妻光男、蛭田実、国井俊治、鈴木源一、矢吹三郎、円谷次男、野崎勇次、青戸禎美、岡部隆、岡部利雄、平久江三治、平久江勝雄、堀川信四郎



▶通常点検をうける幹部団員



▶ポンプ車による水勢披露



▶無火災分団、優良団員を表彰

春の全国火災予防運動

2月29日～3月13日

寒さが身にしみ込む季節になりました。何かと火を使うことの多いこの時期は、火災が発生しやすくなります。

二月二十九日からは、春の全国火災予防運動が始まります。火災を出さないよう、次のことに注意してください。

火の用心、7つのポイント

1、寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
2、子供は、マッチやライターで遊ばせない。
3、風の強いときは、たき火をしない。
4、天ぷらを揚げるときはその場をはなれない。
5、家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6、ふろの空だきをしない。
7、ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

棚倉消防署鮫川分署



老齢年金の支払期

年6回支払に変わります

旧国民年金法による老齢年金の支払期月は、これまで年四回（三月、六月、九月、及び十一月）と定められていましたが、昭和六十三年二月から年六回（二月、四月、六月八月、十月及び十二月）支払に変わりますので、間違いのないようにお受取りください。

変更前	
支払期間	支払期月
12・1・2月分	3月
3・4・5	6
6・7・8	9
9・10・11	11

⇩

変更後	
12・1月分	2月
2・3	4
4・5	6
6・7	8
8・9	10
10・11	12



村営住宅2戸

入居者を募集

村では、昭和六十二年度の村営住宅入居者を次により募集しています。

◆入居者募集住宅
- 第一種村営住宅　一戸
- 第二種村営住宅　一戸

◆建設場所
大字赤坂中野字巡ケ作三六―一（さぎり荘北側）

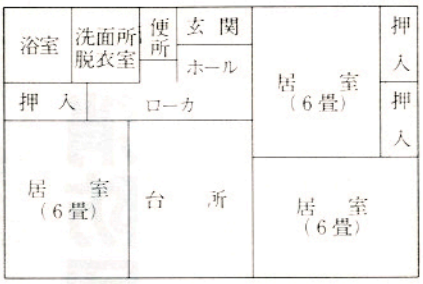
◆住宅規格
木造平家建　3DK

◆家賃（月額）
- 第一種　二万五千円
- 第二種　一万八千円

◆受付期間
二月十九日から二月二十三日まで

入居をするには資格・条件がありますので、詳しくは役場建設課までお問い合わせください。

村営住宅平面図



民生委員に

荒川忠さん委嘱

民生委員の赤坂東野・石井草地区担当の石井輝二さんが、一身上の都合により昨年九月二十二日付で辞任されました。その後任として荒川忠さん（戸草）が、厚生大臣から一月十九日付で委嘱されました。

土地取引には届出を

国土利用計画法という法律をご存知ですか。この法律は、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し、乱開発などを未然に防ぐため、土地取引について届出制を設けています。

◆届出の必要な土地取引
一団地一ヘクタール（一町歩）以上の面積で、その土地についての売買、共有持分の譲渡、営業譲渡、譲渡担保、交換、代物弁済、予約完結権の譲渡、地上権、賃借権の設定、譲渡などが届出の必要な取引となります。

◆届出の方法
土地取引をしようとする六週間前までに、当事者（売買の場合は売主と買主）が県知事あての届出書を、役場を経由して提出することになります。

◆届出の処理
県は、届出の土地の現地調査を行うとともに、取引価格と利用目的を審査し、不適正と認めたときは、取引の中止または変更を勧告することがあります。

適当と認めたときは、勧告しない旨文書で連絡します。この文書を受けとれば契約できます。

◆遊休土地の指定
届出して取得した土地が、三年たっても利用されない場合は、県がその土地を「遊休土地」に指定し、適切に利用するよう通知します。この通知を受けたときは、その土地の利用や処分の計画を県知事に届け出なければなりません。

詳しくは、村の企画調整室におたずねください。



お元気ですか 保健婦です

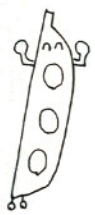
心に栄養与えてますか

ストレス解消にビタミン

バランスのとれた栄養は、疲労をためない（回復）、ストレスに打ち勝つ体づくりの基本です。

とくにビタミンC・B_1は、ストレスの軽減に効果があります。人間の体はストレスが加わると、それに抵抗して副腎皮質ホルモンが分泌され、さらにホルモンの働きが増すにつれて、ビタミンCが減少するしくみになっています。

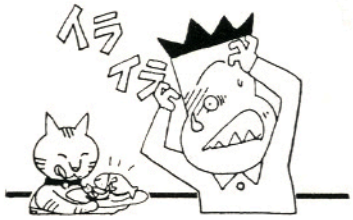
またビタミンB_1は、クヨクヨ疲れなどの精神の疲労をとるのに効果を発揮します。



ビタミンCとB1を多く含む食品

ビタミンC	ビタミンB_1
カリフラワー かいわれ大根 小松菜 パセリ 柿 ミカン	リーコもん 豆 ッいげ ロとんまバー ブさいごレ牛 乳 ナギ ウ

カルシウムでイライラ撃退



カルシウムは大人の体内に約1kgあり、その99%が骨や歯などに、残り1%が血液、神経、筋肉などにあります。その1%（重さにすれば約10g）のカルシウムが、イライラしたときなどの精神安定に役立ちます。

カルシウムは、小魚、煮干し、スキムミルク、豆類などに多く含まれています。また、カルシウムは吸収率が低いので、吸収を助けてくれるタンパク質を一緒にとると吸収しやすくなります。

リンゴをかじると 疲労回復に！

「リンゴをかじると……」というコマーシャルをご存知ですか。これは歯ぐきの健康状態をチェックするのに最適ですが、なんと、リンゴは疲労回復にも効果があるのです。

疲れを感じると、人間の体は乳酸が増加します。リンゴに含まれるリンゴ酸は、増加した乳酸を減らす力をもっています。

といっても、「一口かじれば疲れが吹っとぶ」というわけにはいきません。毎日欠かさず食べることが大切です。



あいさつは 元気の出るクスリ

家族同士だからと、挨拶を省略したりはしていないでしょうか。挨拶の「挨」は自分の心を開く、「拶」は相手に迫っていくことを意味するそうです。つまり、お互いの人間関係を円滑にしてくれるのです。

これは、家族同士でも同じです。特に朝の「おはよう」「おはようございます」の挨拶は、一日に明るい弾みをつけます。

もし、挨拶を忘れている家庭があれば、まずお母さんから率先して「挨拶」をしてみましょう。

2月3月 健康カレンダー

種別	実施日	対象者	受付時間	会場
健康診査 4カ月健診	2月10日(水)	62年10月生まれの者	午後1時～2時	棚倉保健所
健康診査 4カ月健診	3月9日(水)	62年11月生まれの者	午後1時～2時	棚倉保健所
健康診査 乳児健診	2月23日(火)	62年4月・7月生まれの者	午後1時15分～30分	山村開発センター
健康診査 乳児健診（6～7カ月 9～10カ月）	3月22日(火)	62年8月・9月生まれの者 62年5月・6月生まれの者	午後1時15分～30分	山村開発センター
健康診査 3才児健診	2月24日(水)	59年12月・60年1月生まれの者	午後1時15分～25分	山村開発センター
健康診査 1才6カ月児検診	2月24日(水)	61年6月・7月生まれの者	午後1時40分～50分	山村開発センター
健康診査 2才児健診	3月2日(水)	60年11月～61年2月生まれの者	午後1時15分～30分	山村開発センター

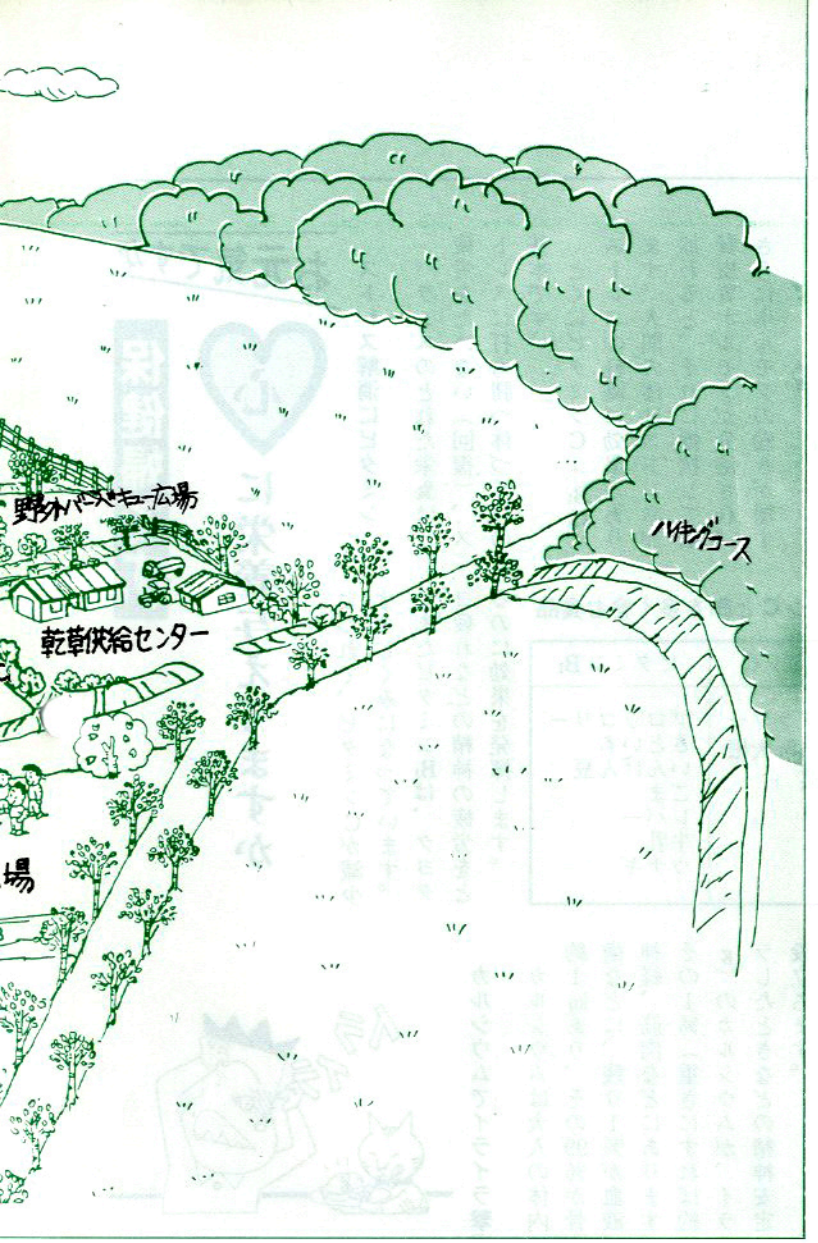
※ 各健診には母子健康手帳を持参してください。

※ 詳しい日程等は別途通知しますが、変更する場合もありますのでご承知ください。

子供からお年寄りまで楽しめる憩いの場づくり

鹿角平（かのつのだいら）観光開発構想まとまる

「ふくしま緑の百景」にも選ばれている鹿角平採草地を、子供からお年寄りまで楽しめる憩いの場をかねた観光地として開発する計画の構想がまとまりました。この計画作成は、役場内に「鹿角平観光牧場開発プロジェクト委員会」を設け、村長の諮問に基づいて検討してきたもので、このほど答申が出されました。プロジェクト委員会では、村青年会、村商工会青年部、村内小・中学校教師との懇談会等を開き、この中で出された開発の要望、意見等を参考にして答申がまとめられました。次に、その概要をお知らせします。





雄大な眺望がひらける鹿角平の草地は、まさに緑のオアシス

〝緑のオアシス〟を生かす開発構想

答申では、「鹿角平採草地は、広大な草原と高原的特色を併せもつ、緑のオアシスともいうべき景観が展望できる景勝地」であり、この条件を生かすために、「採草地にできるだけ手をつけずに周辺部を活用することにより、草地と観光施設の調和を図るのが望ましい」と、開発の方向性について述べています。

また施設の整備については、投資効果を基本に据え、①子ども連れの家族が身体を使って楽しめる施設　②幼児から中学生ぐらいまでが、遠足、キャンプなど集団野外学習に利用できる施設　③村内青年の要求の高い簡易宿泊施設の整備と、しらかば林や桜並木



の整備　④バーベキュー施設、湿性植物園、ハイキングコースの整備など、すべての年令階層が憩える施設　⑤観光客（村外）の欲求に応え、村の産業経済に影響を及ぼせるような売店等の整備をあげています。

イベントの積極的な開催

開発を実施する場合の留意事項として、答申では九項目にわたって述べています。

その中のひとつに「植樹等を行う場合には、村民の協力参加を基本にして進めることが望まれている」と、村民参加の開発を求めています。

さらに観光客を誘致するためには、「広大な草地を生かしたイベント（行事）の開催が望まれ、星座観測会、凧上げ、ロードレース大会、リモコン飛行機大会等々、村内外の団体等に開催を積極的に働きかけることが大切である」と結んでいます。

63年度からの施設整備計画

施設の整備は答申された内容に基づき、六十三年度に野外バーベキュー広場、バーベキューハウス、共同調理場、バンガロー、東屋、アスレチック広場、ハイキングコース等の整備を行うとともに、湿地帯の活用、多目的広場、草そり場、植樹等については調査・研究を行い、実施設計書を作ることにしています。

村民参加でより良い開発を

村政は、村民が主役です。村では、広く皆さんの意見を取り入れ、活力ある村づくりを進めております。

この鹿角平観光牧場開発構想に対しても、こんな施設がほしい、こんなイベントを催しては——など、皆さんのひと言を企画調整室までお寄せください。

いろいろなご意見を参考に村民のための「憩いの場」づくりを考えて行くことにしています。

新しい家族 No.1

夫婦で子育て

経験と心の発達

東京都立大学教授・心理学
詫摩武俊

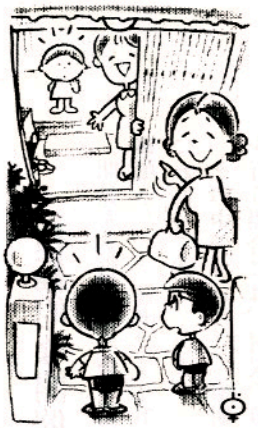
最近の子供たちの様子と、二十年前、三十年前に、自分たちが子供であったころとを比べて、だいぶ変わってしまったと思う親はたくさんいると思います。

たとえば、子供の数が少なくなった、病気をしなくなった、遊び方が変わってきた、おもちゃが豊富になり高価になった、塾やおけいこごとなどで多忙になったなど、たくさんのことがあげられるでしょう。祖父母との接触が少なくなったとか、けんかをしなくなったという特徴をあげる親もいるでしょう。すべて現在の子供たちに一般的に認められることで、これらについてはご承知のことも多いと思います。

これとは別に、よその家庭に行ったり、よその人が自分の家にくることが少なくなったということもあります。叔父さん、叔母さんの家に泊まりがけで遊びに行き、いとこたちと一緒に生活するという経験です。都市の大学生に幼稚園か小学校のころに、このような経験をしたことがありますかと質問すると、わずか一〇%程度のものが肯定的な返事をしただけでした。

いまの親たちの世代にはもっと多かったと思います。自分の家に親類の人が泊まりにくるということもありました。いろいろな話を聞く機会があったものです。現在の主婦たちが多忙になったこと、ホテルが広く普及したこと、親類や知人とのつき合いを煩わしいと思う人が増えたという事情が、これらの機会を少なくしてしまったのです。

なんでもないことのようですが、親、兄弟以外の人と親しく接すること、言葉を変えて言えば、多様な人間関係をもつことは子供の心の発達に必要なことだと思います。同じ三十代の男性でも父親とあの叔父とはどこが違うか、あの叔母の家と自分の家とは雰囲気がどう違うかを知ることができます。親類の人の前では、子供でも自分をよく見せようと努めます。言っていいことといけないことのけじめも、このような機会を通して習得されます。家庭を単調で、閉鎖的なものにしないで、子供の年齢に応じて経験の範囲を拡大するようにする配慮が親には期待されるのです。

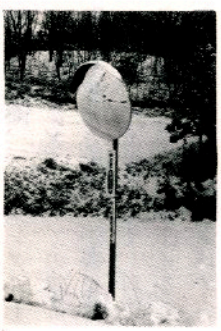


連載スタート

本号から、東京都立大学教授・詫摩武俊先生の連載「新しい家族・夫婦で子育て」を掲載します。このシリーズは、第一回をお読みいただくとお分かりのように、家族(家庭)をめぐる状況の変化が子供の発達にどう影響するか、親はどうあるべきか——などについて執筆されています。これからの子育てに、大いに役立つと思いますので、ご期待ください。

農協と商工青年部長OB会からカーブミラー寄附

このほど、カーブミラーが鮫川村農協から一基、村商工会青年部長OB会から二基が寄贈され、寅卯平地内と鮫川中学校線に設置されました。



寅卯平地内のカーブミラー

進学資金の貸与

奨学生を募集

鈴木春栄画伯奨学基金と商工業振興後継者育成基金の奨学生を、次により募集しています。

鈴木春栄画伯奨学基金

◆応募資格
1、鮫川村に引き続き五年以上住んでいること。または住んでいたこと。
2、高等学校、高等専門学校、大学に在学していること。または今春入学予定者であること。

◆貸与月額
1、高等学校、専門学校生(一~三年)の場合
月額一万五千円以内
2、大学、高等専門学校生(四~六年)の場合
月額二万円以内

◆募集期間
三月一日~三月三十一日

◆奨学金の返還
奨学生は、卒業の月の六カ月後から十五年以内に返還すること。





元気いっぱい駆け回り凧をあげる児童たち

防火凧あげ大会

西山幼年・少年消防クラブ

西山小学校（阿部重信校長）の県南西山幼年・少年消防クラブは、一月二十一日防火凧あげ大会を行いました。

大会は、児童の火災予防の意識の高揚と啓蒙を図ることを目的に毎年開かれています。全児童百六人が冬休み中に家族と共に、西山地区はもちろん、村から火災をなくそうと願いを込めたアイデアあふれたすばらしい防火凧を作りました。

はじめ校内でデザイン審査を行ったあと、会場を西山林研広場に移して凧あげを行いました。児童達は、元気いっぱい駆け回り凧を空高く舞い上がらせ、楽しいひとときを過ごしていました。

商工業振興後継者育成基金

◆応募資格

1、鮫川村に引き続き三年以上住んでいること。

または住んでいたこと。

2、高等学校商工学科、職業高等訓練校、専門学校に在学していること。または今春入学予定者であること。

◆貸与月額

月額一万五千円以内

詳しくは、教育委員会（☎四九－三一五一）へ。

文芸



俳句

道少田　山本五十鈴

それぞれの面影負うて賀状来る

新宿　斉須　信子

客一人増えしぬくもり黄水仙

宿ノ入　田中　義明

余生読む思いにめくる初暦

反田　小山田清哲

排水掘削雪の田園掘り進む

道少田　山本　朗史

家見えるまでの迂回路冬木凪ぐ

上　高坂　蚯切

はすかいに揺らぐ竹の葉初陽さす

大　塩　矢吹　呂孝

日だまりに寄り指でさす道おしえ

彦次郎　青戸　テル

つかの間の雪解けゲートへ球を追う

鮫川高校　沢　草二

木枯や裏町にある写真館

押　野　山本　恵子

山陰に炭焼き話すこともなし

横　座　矢　吹　茂

冬の日の数ぬくみいるしずけさよ

短歌

新宿　杉山　忠男

寒の朝茶の間温まれば床はなれ夫唱婦随のひと日始まる

名　下　須藤美代子

読み返しやっと読めたり四歳の孫の手紙の「しゃしんおくります」

青生野　吉成　タカ

元旦に着きし賀状をめくり読み姿しのびつ温もり覚ゆ

越　虫　星　武

テレビよりきこゆる除夜の鐘き、ついそぎ詣でる奥不動尊に

関　口　藤田　マサ

吾が肩を越すまで孫は丈伸びてセンチ同じ靴買い初めに買う

折　戸　阿久津ミツ

バイバイと片言交じり紅葉手を振る曽孫の姿愛ほし

酒　垂　石井　カヤ

夫と吾二人住いに子ら集い炉端を囲む元旦の朝

広　畑　岡部ヒサ子

毛糸編む少女は洟を啜りつつ、編目を数えまた洟啜る

遠ケ竜　須藤　幸子

燃えている焚火の彼方青々と大晦日の月は雲に耀う

棚　橋　関根　一好

風花の痛くほほ打つ大晦日首をすくませバイク走らす

巡ケ作　鈴木　米子

残業を終えてエンジン温めおれば二十一時のチャイムが響く



農委だより

農業者年金の現況届
提出は3月31日まで

現況届は、年金を引き続き受給する権利があるかどうかの確認を受ける年一回の重要な届です。

経営移譲年金、農業者老令年金とも、まず受給権者が生存していることの確認のため提出が必要となります。なお、経営移譲年金の場合は、農業経営が再開されていないこと等支給停止事由に該当していないこと、実際に経営移譲の手続きが終っていることを確認します。これは、移譲年金の意義が十分に発揮される必要があるからです。そのため農業経営に関する各種の名義は必らず経営移譲の相手方に変更されていなければなりません。もし、名義が年金受給者のままで残っている場合は完全な経営移譲とはみられず、年金の取消しや支給停止になりますから十分注意してください。

1、農業所得申告の名義
2、農業共済組合、土地改良区、農協等の組合員名義
3、水田農業確立対策の助成金名義

これらを、毎年三月の現況届の際確認し、適正な年金の支給を継続することにしています。

六十二年三月三十一日までに農業者年金の裁定を受けた受給権者へ、農業者年金基金から二月中旬頃、現況届の用紙が送付されます。

現況届出は、六十三年三月一日以後三月三十一日までに届出書に所定の事項を記入押印のうえ、受給権者が生存していることについての村長の証明を受けてください。次に農業委員会で支給停止事由に該当していないこと及び諸名義が後継者等名義になっていることの確認を受け、切手をはって、農業者年金基金へ提出してください。

水田農業確立対策について学ぶ
―東西白河農業委員の研修会―

福島県農業会議主催による東西白河農業委員研修会が、去る一月二十六日白河農協で開催されました。

研修会では、白河農政事務所農産課小松課長から、水田農業確立対策についての説明がありました。

六十三年度から、「米需給均衡化緊急対策」が実施されることになりました。

これは、年々国内の米の消費量が減少していることや、近年の豊作により過剰米の処理が必要とされているためです。消費、流通、生産の各般にわたる緊急の取組みにより需給均衡の回復に努める施策であります。そのため、昭和六十三年度から、次のことを実施することになりました。

◆需給ギャップの縮少（三十万トン）

・米の消費拡大の推進

・在庫調整

これにより、供給と需要の差を三十万トン少なくします。

◆自主調整保管及び自主流通在庫保有（八十万トン）

・緊急対策配分数量

鮫川村は、五九、一〇〇キロ（うち他用途利用米二六、五八〇キロ）が配分されました。この数量は転作で対応することになりますので、前年より転作面積が増えます。

・事前売渡申込限度数量

鮫川村の配分は、「うるち」が一、五六〇、六〇〇キロ、「もち」が二八、八六〇キロで、前年より五九、四〇〇キロ（九九〇俵）減となります。

参加した農業委員の皆さんは、このような農業情勢をふまえ、新しい農業構造への転換の必要性を考えると、農業委員としての任務の重大さを認識しました。

参加してみませんか
農業経営者研究大会
稲作（初期）研究会

第六回農業経営者研究大会が開催されます。

これは、産地間の競争に強い農業地域をつくり、産業として自立し得る農業者を育成することを目的にしています。新しい時代における経営戦略について研究討議をし、経営者相互の研鑽を図るために開催されます。

◆期日 昭和六十三年二月二十三日・午前十一時～二十四日正午

◆会場 福島市「福島グリーンパレス」

参加希望者は、二月二十日まで、村農業委員会に申し込んでください。

昭和六十三年度稲作（初期）研究会が開催されます。昭和六十二年産米が三十一年ぶりで引き下げられ、加えて米需給均衡化緊急対策等の措置がとられるなど米をめぐる情勢はきびしい現状です。そこで稲作経営の安定を図るため、初期研究会が開催されます。

◆期日 昭和六十三年三月八日午前十時～午後四時十五分

◆場所 郡山市「福島県農業試験場」

参加希望者は、二月二十五日まで、村農業委員会へ。

公民館だより

ご成人おめでとうございます

第四十回鮫川村成人式が、一月十五日午前十時から山村開発センターで開催されました。

この日大人の仲間入りをした男子三十一名、女子四十二名の新成人者は次のとおりです。

おめでとうございます。



▶決意新たな成人者



▶有益だった記念講演

◎成人者氏名（本籍小字名）

〔赤坂西野〕

▽吉田三男（下野町）▽舟木寿宏（寅卯平）▽鈴木良男（草牛）▽星光栄（薮）▽藤田千恵子（本坂）▽田子里美（草牛）

〔西山〕

▽須藤進（岩野草）▽水野健治（宝木）▽関根照江（戸倉）▽関根幸子（菅田）▽関根幸子（押野）▽関根幸江（水口）▽市川尚子（水口）▽緑川ひろみ（押野）▽関根由美子（西野内）▽松崎和代（岩野草）

〔赤坂中野〕

▽前田守栄（道少田）▽湯座和志（真坂）▽水野宏文（大塩）▽生田目和春（辺栗）▽本橋隆史（道少田）▽鈴木勝雄（馬場）▽小松日出男（道少田）▽須藤美津子（新宿）▽藤田久美（道少田）▽湯坐丈子（真坂）▽鈴木フミ子（馬場）▽湯坐一恵（真坂）▽鈴木明美（馬場）▽小林三枝子（伏木田）▽生田目静子（辺栗）

〔赤坂東野・石井草〕

▽窪木康雄（広畑）▽有賀康男（小名沢）▽渡辺清美（栖久保）▽塩田正三（石井）▽佐藤悦治（石井）▽市川勝美（滝ノ下）▽蛭田輝男（内ケ竜）▽宗田一幸（官代）▽前田英樹（官代）▽阿久津幸子（蕨ノ草）▽鏑木次子（内ケ竜）▽前田ちあき（官代）▽中川西えい子（石井）▽水野和子（広畑）▽佐久間富士子（大根屋敷）▽中川西明美（小名沢）▽中川西チエミ（内ケ竜）▽溝井陽子（大竹）

〔富田〕

▽野崎祐一（前沼）▽西戸信幸（彦次郎）▽石井栄幸（中沢）▽鷲野谷尚美（二反田）▽鷲野谷真子（二反田）▽生田目博子（中沢）▽添田祐子（鍬木田）▽鷲野谷洋子（彦次郎）▽岡部晴美（鍬木田）▽生田目和枝（中沢）▽岡部清枝子（前沼）

〔渡瀬〕

▽星栄治（越虫）▽藤田美智代（越虫）▽芳賀甚子（福原）

〔青生野〕

▽鈴木広幸▽笹島幸弘▽長井進▽中島兼治▽瀬谷久仁男▽岡部直三▽棚井まさ子▽大竹洋子▽大森八重子

貴重な文化財を火災から守ろう

水野家書院で防御訓練

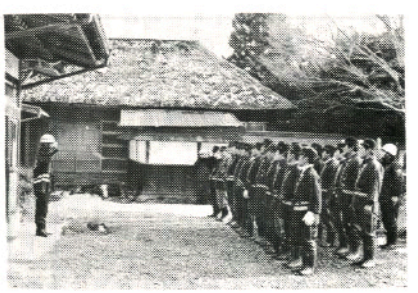
一月二十六日の第三四回文化財防火デーに、大字西山字宝木の村指定有形文化財水野家書院で火災防御訓練が行われました。

水野家書院は、代々宝木村の名主をつとめた水野家が、江戸時代の初期に建築したもので、幕府から派遣された巡見使や、代官、領主などが御休所として利用しました。

また、水野家書院の前にある庭園木「西山のイチイ」は県指定の天然記念物になっています。

火災防御訓練では、はじめに文化財の保管状況を村文化財保護審議会委員が査察し、消防署員による消防設備の立入検査があり、次に、火災の防御訓練が行われました。

水野家書院から出火、延焼中との想定で、所有者の水野良一さんによる火災発生の通報で、消防署鮫川分署と消防団第三分団宝木班、岩野草班が出動、現場到着後ただちに機敏な消火作業が行われました。



▶前田副団長の講評

児童手当の受給資格が変わります

児童手当は、昭和六十一年から二人目の子供にも支給されていますが、その受給資格は三年間にわたり段階的に変ります。昭和六十三年度は最終年度となり、四月一日からは次のようになります。

◇受給資格

▽義務教育就学前の児童を含む十八才未満の児童を二人以上養育している方で、収入が一定の額未満の場合。

なお、支給額は次のとおりで、義務教育就学までの間支給されます。

▽二人目の児童　月額二千五百円

▽三人目以降の児童　一人につき月額五千円

児童手当の受給資格のある方でまだ支給されていない方や制度改正により新たに受給資格が生じる方は、三月三十一日までに役場住民課で手続をしてください。

陸海空 自衛官募集中

防衛庁では、ただいま陸・海・空自衛官を募集しています。若い力を、自衛官として全力投球してみませんか。

手続きなど詳しくは、役場総務課または自衛隊白河募集事務所（☎〇二四八・二四・〇三七二）へお尋ねください。

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会）

○本坂　藤田正義様
亡父（英昌様）の遺志により　二〇、〇〇〇円

○水口　関根軌道工業安全会
代表　関根功男様
二九、七九二円

○いわき市植田町（楢久保出身）
白坂信宏様
亡父（信己様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

○大塩　鈴木一二様
亡父（一利様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

○新宿　生田目次男様
亡父（公丸様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

心配ごと相談

2月22日（月）
午前10時～午後3時
山村開発センター

なお、午後1時～3時までは弁護士による相談を行いますのでご利用ください。

行政相談

おめでた

十二月

戸倉　関根麻華　父関根勝士
折戸　阿久津雄市　父阿久津市男
廣畑　芳賀雄喜　父芳賀俊雄
木ノ根　津田優樹　父津田信一

一月

大畠　芳賀綾子　父芳賀博文
越虫　蛭田慎也　父蛭田浩良
木之根　赤坂裕範　父赤坂浩幸

おくやみ

一月　歳　世帯主
大平　関根多吉64　関根芳一
大塩　鈴木一利71　鈴木一二

児童手当支払のお知らせ

児童手当は、2月9日に鮫川村農協口座に振込みましたので、お受けとりください。

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
2月11日(木)	勝田	石川	矢吹
14日(日)	管原	—	田中(内)
21日(日)	薄葉	—	石川中央
28日(日)	大木	中島	大野
3月6日(日)	中央病院	車田	円谷・三輪
13日(日)	和田	根本	大野眼・中島

ゴミの収集日

収集コース	種別	2月	3月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	15.18.22 25.29	3.7.10.14.17 24.28.31
	不燃物	19	4.18
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	15.18.22 25.29	3.7.10.14.17 24.28.31
	不燃物	19	4.18
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	18	3.17.31
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	17	2.16.30
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	11
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	19	4.18

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

塙セリ市場だより（63・1・20）

性別	頭数	取引価格 最高	最底	平均	平均体重	平均月令
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌	100	696	221	350	255	9.7
去勢	142	462	284	386	278	9.5
計	242			371	268	9.6

今月の納付　国民年金保険料　納期限2月25日(木)